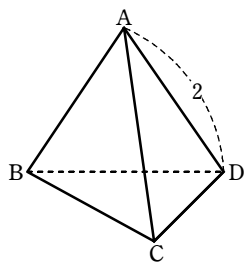




10. 1 辺の長さが 2 の正四面体 ABCD において、次の内積を求めよ。

- (1)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD}$
- (2)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{CA}$



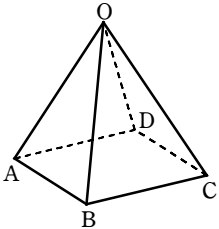
11. 次のベクトル  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  のなす角  $\theta$  を求めよ。 $\vec{a}=(1, 1, -1)$ ,  $\vec{b}=(1, -1, \sqrt{6})$

12. 3 点 A  $(-3, 1, 2)$ , B  $(-2, 3, 1)$ , C  $(-1, 2, 3)$  を頂点とする  $\triangle ABC$  において、次のものを求めよ。

- (1)  $\angle ABC$  の大きさ
- (2)  $\triangle ABC$  の面積

13. ベクトル  $\vec{a}=(1, 2, 3)$ ,  $\vec{b}=(1, -2, 1)$  の両方に垂直で、大きさが 3 のベクトルを求めよ。

14. 右の図の四角錐 O−ABCD において、  
OA=OB=OC=OD, AB=BC=CD=DA である。  
 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ ,  $\overrightarrow{BC}=\vec{c}$  とするとき、 $\overrightarrow{OD}$ ,  $\overrightarrow{CA}$  をそれぞれ  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$  を用いて表せ。

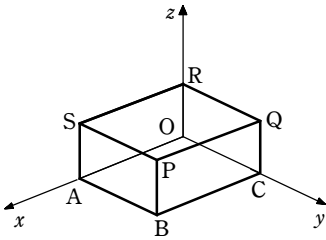


15. 四面体 OABC において、 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ ,  $\overrightarrow{OC}=\vec{c}$  とする。辺 AB の中点を M, 辺 BC を 3 : 1 に内分する点を N,  $\triangle OAB$  の重心を G とするとき、次のベクトルを  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$  を用いて表せ。

- (1)  $\overrightarrow{MN}$
- (2)  $\overrightarrow{GN}$

16. 四面体 OABC において、辺 BC の中点を P, 辺 CA を 2 : 1 に内分する点を Q とする。  
 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ ,  $\overrightarrow{OC}=\vec{c}$  とするとき、 $\overrightarrow{AP}$ ,  $\overrightarrow{BQ}$  をそれぞれ  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$  を用いて表せ。

1. 右の図において、点 P の座標が (4, 3, 2) のとき、直方体 OABC−RSPQ の O, P 以外の頂点の座標を求めよ。



【解答】 A : (4, 0, 0), B : (4, 3, 0), C : (0, 3, 0), Q : (0, 3, 2), R : (0, 0, 2), S : (4, 0, 2)

【解説】 線分 PB, PQ, PS は、点 P からそれぞれ xy 平面, yz 平面, zx 平面に下ろした垂線である。また、線分 PA, PC, PR は、点 P からそれぞれ x 軸, y 軸, z 軸に下ろした垂線である。

よって、点 A の座標は (4, 0, 0), 点 B の座標は (4, 3, 0),  
点 C の座標は (0, 3, 0), 点 Q の座標は (0, 3, 2),  
点 R の座標は (0, 0, 2), 点 S の座標は (4, 0, 2)

2. xy 平面, yz 平面, x 軸, 原点のそれぞれについて、点 (3, 7, −4) と対称な点の座標を求めよ。

【解答】 xy 平面 : (3, 7, 4), yz 平面 : (−3, 7, −4), x 軸 : (3, −7, 4)  
原点 : (−3, −7, 4)

【解説】 xy 平面について対称な点の座標は (3, 7, 4)  
yz 平面について対称な点の座標は (−3, 7, −4)  
x 軸について対称な点の座標は (3, −7, 4)  
原点について対称な点の座標は (−3, −7, 4)

【参考】 次の座標平面, 座標軸, 点について、点 (a, b, c) と対称な点の座標は  
xy 平面 …… (a, b, −c) x 軸 …… (a, −b, −c)  
yz 平面 …… (−a, b, c) y 軸 …… (−a, b, −c)  
zx 平面 …… (a, −b, c) z 軸 …… (−a, −b, c)  
原点 …… (−a, −b, −c)

3. z 軸上にある点 A と点 B(1, 5, −7) について、原点 O との距離が等しいとき、点 A の座標を求めよ。

【解答】 (0, 0, 5√3) または (0, 0, −5√3)

【解説】 点 A は z 軸上にあるから、その座標を (0, 0, z) とおく。  
OA=OB であるから OA<sup>2</sup>=OB<sup>2</sup>  
よって 0<sup>2</sup>+0<sup>2</sup>+z<sup>2</sup>=1<sup>2</sup>+5<sup>2</sup>+(−7)<sup>2</sup>  
ゆえに z<sup>2</sup>=75 よって z=±5√3  
したがって、点 A の座標は (0, 0, 5√3) または (0, 0, −5√3)

4. 3 点 A(2, −3, 0), B(5, 1, 5), C(8, −1, 1) について、2 点 A, B 間、および B, C 間の距離をそれぞれ求めよ。また、次の点の座標を求めよ。

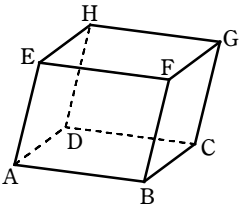
- (1) 線分 AB を 2 : 3 に内分する点, 外分する点  
(2) 線分 BC の中点 (3) △ABC の重心

【解答】 A, B 間の距離 5√2 ; B, C 間の距離 √29  
(1) 内分 (16/5, −7/5, 2), 外分 (−4, −11, −10)  
(2) (13/2, 0, 3) (3) (5, −1, 2)

【解説】 AB=√{(5−2)<sup>2</sup>+{1−(−3)}<sup>2</sup>+(5−0)<sup>2</sup>}=√50=5√2  
BC=√{(8−5)<sup>2</sup>+(−1−1)<sup>2</sup>+(1−5)<sup>2</sup>}=√29  
(1) 内分 : (3・2+2・5/2+3, 3・(−3)+2・1/2+3, 3・0+2・5/2+3)  
すなわち (16/5, −7/5, 2)  
外分 : (−3・2+2・5/2−3, −3・(−3)+2・1/2−3, −3・0+2・5/2−3)  
すなわち (−4, −11, −10)

- (2) (5+8/2, 1+(−1)/2, 5+1/2) すなわち (13/2, 0, 3)  
(3) (2+5+8/3, −3+1+(−1)/3, 0+5+1/3) すなわち (5, −1, 2)

5. 平行六面体 ABCD−EFGH がある。各頂点を始点、終点とする有向線分で表されるベクトルのうち、BC→, GE→ に等しいものをそれぞれ求めよ。また、AE→ の逆ベクトルを求めよ。



【解答】 BC→ に等しいベクトル : AD→, EH→, FG→  
GE→ に等しいベクトル : CA→  
AE→ の逆ベクトル : EA→, FB→, GC→, HD→

【解説】 BC→ に等しいベクトルは AD→, EH→, FG→  
GE→ に等しいベクトルは CA→  
AE→ の逆ベクトルは EA→, FB→, GC→, HD→

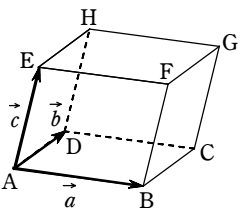
6. 平行六面体 ABCD−EFGH において、AB→=a→, AD→=b→, AE→=c→ とする。次のベクトルを a→, b→, c→ を用いて表せ。

- (1) AF→ (2) CE→ (3) GA→

【解答】 (1) a→+c→ (2) −a→−b→+c→ (3) −a→−b→−c→

【解説】

- (1) AF→=AB→+BF→=a→+c→  
(2) CE→=CD→+DA→+AE→=−a→+(−b→)+c→=−a→−b→+c→  
(3) GA→=GH→+HE→+EA→=−a→+(−b→)+(−c→)=−a→−b→−c→



7. a→=(1, 2, −1), b→=(2, −1, −2), c→=(−1, 2, 0) のとき、ベクトル 2a→−3b→+c→ を求めよ。また、その大きさを求めよ。

【解答】 順に (−5, 9, 4), √122

【解説】 2a→−3b→+c→=2(1, 2, −1)−3(2, −1, −2)+(−1, 2, 0)  
=(2, 4, −2)+(−6, 3, 6)+(−1, 2, 0)  
=(−5, 9, 4)

また |2a→−3b→+c→|=√{(−5)<sup>2</sup>+9<sup>2</sup>+4<sup>2</sup>}=√122

8. a→=(2, 1, −1), b→=(0, −2, 3), c→=(−3, 2, 1) のとき、e→=(7, 6, −12) を s a→+t b→+u c→ (s, t, u は実数) の形に表せ。

【解答】 e→=2a→−3b→−c→

【解説】 s a→+t b→+u c→=s(2, 1, −1)+t(0, −2, 3)+u(−3, 2, 1)  
=(2s−3u, s−2t+2u, −s+3t+u)

e→=s a→+t b→+u c→ とすると  
(7, 6, −12)=(2s−3u, s−2t+2u, −s+3t+u)  
よって 2s−3u=7 …… ①, s−2t+2u=6 …… ②, −s+3t+u=−12 …… ③  
②×3+③×2 から s+8u=−6 …… ④  
①, ④ を解いて s=2, u=−1  
よって、② から 2−2t+2・(−1)=6 ゆえに t=−3  
したがって e→=2a→−3b→−c→

9. a→=(1, 2, 3), b→=(2, −1, 1) とする。ベクトル a→+t b→ の大きさの最小値とそのときの実数 t の値を求めよ。

【解答】 t=−1/2 のとき最小値 5/√2

【解説】 a→+t b→=(1, 2, 3)+t(2, −1, 1)=(1+2t, 2−t, 3+t)  
よって |a→+t b→|<sup>2</sup>=(1+2t)<sup>2</sup>+(2−t)<sup>2</sup>+(3+t)<sup>2</sup>=6t<sup>2</sup>+6t+14  
=6{t<sup>2</sup>+t+(1/2)<sup>2</sup>}−6・(1/2)<sup>2</sup>+14=6{t+(1/2)}<sup>2</sup>+25/2

